

## 施策調査専門委員会の検討状況について

## 【 第55回施策調査専門委員会（R3.7.2）】

- ＜議題＞
- 1 第4期における経済評価の実施について
  - 2 令和2年度モニタリング調査結果について
  - 3 第4期かながわ水源環境保全・再生実行計画案について
  - 4 その他

## ＜主な意見等（要旨）＞

## 【 議題1 】 第4期における経済評価の実施について

- 経済的手法による施策評価のスケジュールを確認し、経済評価の大枠を決めるために、議論を行った。
- 施策大綱前と現在の状況を比べ、県民の福利の向上度合いを貨幣価値で算出することに関して、内容をもう少し詰めたほうがよい。
- 有識者検討委員会の構成については、これまでの議論の内容を把握している施策調査専門委員会から3名程度、外部の有識者を2名程度とする。
- 前回調査結果と比較するのであれば、調査方法は同じ方法にしたほうがよい。
- Nature-based Solutions (NbS) については、8つの基準と指標があり、それに基づき事業を評価する仕組みになっており、水源環境保全・再生施策にとって非常に重要な意味を持つ順応的管理がしっかりできているかを評価するのに有効だと思うので、経済評価の副次的な評価方法として検討いただきたい。

## 【 議題2 】 令和2年度モニタリング調査結果について

- 森林生態系効果把握調査について、下層植生が豊かだと野ネズミが多いということだが、生物多様性の観点から見れば、野ネズミの生息はいいことかもしれないが、林業的には野ネズミは苗木を食い荒らすなどの悪影響を及ぼすので、誤解を生まないよう丁寧な説明をしていただきたい。
- 河川のモニタリング調査の県民参加型調査において、データマイニングという手法を使って、調査員に実施したアンケートの内容を分析し、調査が県民の環境意識の向上にどのくらい繋がったかということが時系列でわかると面白い。

## 【 議題3 】 第4期かながわ水源環境保全・再生実行計画案について

- 水源環境保全課より、第4期かながわ水源環境保全・再生実行計画素案からの変更点を説明した。

## 【 議題4 】 その他

- 水源環境保全課から、シカ捕獲実施者への奨励金交付事業について、水源環境保全・再生施策に新たなシカ管理捕獲の手法を追加する理由、水源環境保全税の充当の対象、確認方法に関して説明を行った。
- ウッドショックの神奈川県内の影響に関して、森林再生課から原木材の価格の状況、水源環境保全課から森林整備の状況について報告した。